

2018 世界審査（速報）

8月6日～9日の日程で、GGNの再認定審査が実施されました。

9日は城崎にて審査員による講評（フィードバック）と記者会見が行われました。

審査の結果については、9月8～9日にイタリアで開催されるユネスコ世界ジオパークカウンシル（非公開）で審議されます。

結果発表は未定ですが、今年の審査結果は30年2月に発表されました。

<9日審査員講評概要>

1 審査員

Pablo Rivas（パブロ・リバス）氏（スペイン）

- ・ユネスコ世界ジオパークの地質遺産専門家グループのメンバー。
- ・分野：地質学、環境科学

盧琴飛（Lu Qinfei：ルー・チン・フェイ）氏（中国）

- ・雁蕩山（Yandangshan）ユネスコ世界ジオパーク管理委員会ディレクター
- ・分野：地質学的環境保護、一般向け科学教育

2 審査員講評

○審査の中でたくさんの優良事例を確認することができた。優れたインフラ、ユニークで美しい景色、加えて皆様の強い決意、ジオパークのチームやパートナーの皆さんの情熱を感じることができた。

○4年前の再認定時の改善点については、非常に満足できる形で達成されている。

○ジオパークの世界の中では、常に上を目指す、上昇するということが行われるため、常にどこか改善の余地がある。非常に優れたジオパークというのは、さらに難しい責任、強い要求に答える責任があり、ほかのジオパークに対してよい事例となる必要がある。私たちからは、山陰海岸ジオパークに是非このような責任あるベストなジオパークになっていく役割を果たしていただきたいとお願いしたい。

（審査員からの提案）

①世界レベルでの活動

・山陰海岸ジオパークが、ユネスコ世界ジオパークの中で、より活発に活動することを提案したい。例えば、日本ジオパークネットワークの中に、ユネスコの認定を受けるといことがいかに目に見える形で利益をもたらすかということについて話し合う分科会を山陰海岸ジオパークが設立する。これは、山陰海岸ジオパークの経営の改善にもつながると思う。また、世界の他のジオパークに対して山陰海岸ジオパークで行われている素晴らしい事例を共有する機会にもなる。

- ・他のユネスコ世界ジオパークとの姉妹提携をもっと締結してほしい。
- ・国際的な交流、出版物、PR活動などを通じて、他のユネスコ世界ジオパークともっと経験や事例の共有を進めてほしい。

②解説パネルの設置

余部クリスタルタワーが新たにできたが、建物自体は非常に人気があり、多くの来客を呼び込めることは理解しているが、歴史や現地の状況についての解説パネルを設置すればよりよくなると考える。

③地元企業、NPO 法人等への支援の継続

山陰海岸ジオパークは、地元の企業、産業、NPO 法人に対して支援しており素晴らしい。この姿勢は、今後も継続してほしい。

④学識的知識の情報提供

玄武洞公園でのガイドについて、学識的レベルでもう少し人々に知識を与えるような情報提供をされるとよい。玄武洞公園は国際的意義があるが、さらにその国際的価値を高めることができる。

⑤パンフレット等への英語・中国語の併記

パンフレット等に中国語と英語の併記をしてほしい。特に公式のウェブサイトにも中国語の訳が付いていたら、もっと中国人の観光客が来やすくなると考える。

⑥鳥取砂丘

鳥取砂丘について、過去の気候変動による植物の変化など、もっと学術的な発信ができると観光客の興味が深まり、観光面が増えて現地の経済にプラスになると考える。

⑦ジオサイト間の交通アクセス方法

ジオサイトから別のジオサイトまでのアクセスについて、地図や交通手段の情報を提供するようにしてほしい。